
平和

冬桜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

平和

【Nコード】

N5361L

【作者名】

冬桜

【あらすじ】

ある姉弟の一場面です。

机の上にシュークリームが一つ。それを求める者は二人。

「うちに家訓とかないの？」

目の前の姉にそう問いかけ、相手を探るような視線を送る。

「あつたとすれば、どんなのがいい？」

対して姉は我関せずといわんばかりの態度で、問いに問いを返す。もつともその態度は今までの経験が持つ絶対的な自信からくるものだろう。

「平和主義」

「平和、ね。じゃあ、私は年功序列、弱肉強食、絶対服従、あと・
・早い者勝ち」

なんて絶望的なラインナップなんだ。第一、絶対服従なんてどっから出てきたんだ。

「そんな家が良かったのか・・・」

あまりのひどさに言葉をなくす。

「そんなに嫌？結構居心地いいかもしれないよ？」

相変わらずの態度でそんな事を言っている。この思考回路は超一級品かもしれない。自己中の。

「いやいやいや。それは本人だけだから！」

「そう？あんまり褒めてもらっても困るんだけど」

誰が褒めた！！叫びたいのをぐっと堪える。まともに取り合っていては、いつまでたっても勝機は見えない。

「念のため言うけど、褒めてない。あと、そんな殺伐とした家庭は却下」

ひとまず、謎の家訓は撤回させねばならん。

「仕方ないわね。妥協してあげましょ」

はぁー、とこれ見よがしにため息をつく。その後に出てきた言葉

は難解だった。

「じゃあ、唯一神とか、どう？」

「妥協したように思えないし！すでに家訓ですらねえ！！」

「だって、神様に逆らおうなんて考えないじゃない？争いごとはなくなつて平和になると思うけど？」

「絶対、独裁主義と勘違いしてるだろ」

「ノンノン。そこら辺はちゃんと分かつてるわよ。要は、崇めてくれるか崇めさせるかの違い」

自信満々に自己理論を展開する姉。

「家に神様作つてどうするんだよ。まだ、さっきの方がマシだつてやばい、気力が尽きてきた。」

「やつぱり、絶対服従？最初から分かつてたけど」

「どんだん心が暗くなつていく気がする。もとより、まともな展開は期待してはなかった。いつもなら、早々に決着がついているところ（姉の勝ちで）を今回は何とか言いくるめようとしたのだ。せめて引き分けになるようにと。」

「あ、もしかして言葉が尽きた」

「そっか、そっかと楽しそうにこちらを眺める。」

「反論をしないのを見て、姉は疑問系じゃなくて断定してきた。ほぼ勝利を確信したのだろう。気分は上々みたいだ。」

「神様からの慈悲つてことで、今日はじゃんけんで決めましょうか」
突然の提案に希望を見出す。

「じゃんけん、か」

「これはもしかしたら、姉に負けない千載一遇のチャンスかもしれない。」

「・・・あいこは引き分けで半分ずつつてことで、一回勝負にしない？」

「いいよ。いやー、やつぱ神様は心が広くないとね」

「あはは、と笑う姉。腹は立つが冷静にならないと。負ける確立は三分の一。」

「いくよ。じゃんけん」

ほい、という掛け声とともに手を前に出す。

向こうはパーで、こちらがぐーで・・・

「なんでだあああああああ！！」

「相変わらず、分かりやすいからね。ま、今回は残念ってことで
じゃね、と姉は喜色満面でシュークリームを食べて消えていく。

その笑顔を見て、この家に平和が来ることなんてなさそうだと確
信した。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5361/>

平和

2010年10月28日08時02分発行